



今月のテーマ

竜巻から身を守るには？

朝は晴れていい天気だったのに、午後になったら突然の雷雨に・・・
こんな経験ありませんか？

このような天気の急変は、「積乱雲」（せきらんうん）という雲が原因です。発達した積乱雲は、「急な大雨」「雷」「ひょう」「竜巻」などの激しい現象を引き起こし、毎年のように各地で被害をもたらしています。



今回は、積乱雲によって起こる「竜巻」（たつまき）について、どんなものか、竜巻から身を守るためにはどうしたらよいか説明します。



竜巻を生み出す「積乱雲」



積乱雲は、強い上昇気流によって上にもくもくと大きく成長した雲で、夏によく見られる「入道雲」や「かなとこ雲」も積乱雲の仲間です。上空に冷たい空気、地上に暖かく湿った空気があると、「大気の状態が不安定」となって積乱雲が発達しやすくなります。

ひとつの積乱雲は、高さが10キロメートルを超え、横の広がりも数キロ～十数キロメートルで、もたらされる現象は30分～1時間程度で局地的な範囲に限られます。



「竜巻」ってどんなもの？

竜巻は、積乱雲に伴う強い上昇気流によって発生し、激しく回転しながら地面に向かって伸びる空気の渦です。

日本では平均して年に約20個、竜巻の発生が確認されています。

竜巻が一度発生すると、家屋の倒壊や車両の転倒、飛来物の衝突などにより、短時間で大きな被害をもたらすことがあります。



竜巻クイズ



日本で確認された竜巻の中には、最大風速が約70m/sに達したものがあります。この速さに最も近い乗り物はどれでしょうか？

①自転車

②高速道路を走る自動車

③新幹線



竜巻から身を守るには？

ポイント①気象情報をこまめに確認する

気象庁では、積乱雲が発達しやすいと予測された時点から段階的に情報を発表しています。

屋外で活動する際は、これらの情報をこまめにチェックして、天気が急変する場合には速やかに安全を確保することが大切です。



気象情報はこちら↑
から(気象庁HP)

○雷注意報

落雷や急な強い雨、竜巻、ひょうのおそれがある場合に発表します。

○竜巻ナウキャスト

竜巻などの激しい突風が発生する可能性を1時間先まで予測した分布図です。

○気象防災速報(竜巻注意・竜巻目撃)

今まさに竜巻などが発生するおそれがある地域に注意を呼びかける情報です。

ポイント②積乱雲が近づくサインを見逃さない

真っ黒な雲が近づいてきた、雷の音が聞こえてきた、急に冷たい風が吹いてきたという状況は積乱雲が近づいている前兆(サイン)です。



積乱雲が近づいてきたら…

積乱雲が近づくサインに気づいたら、速やかに頑丈な建物の中へ入り、窓や壁から離れた安全な場所で積乱雲が過ぎ去るのを待ちましょう。

①外に出ない!



頑丈な建物の中へ
避難する

②窓ガラスから離れる!



雨戸・窓・カーテンを
閉めて離れる

③建物の中心に近い 部屋へ!



できるだけ窓や壁から
離れた場所で身を守る

④正しい情報を確認!



家族や先生の指示を聞
き、落ち着いて行動する



竜巻クイズ 答え



①自転車：約15km/h ②高速道路の車：約100km/h ③新幹線：最高約300km/h

70m/sは252km/hに換算でき、これは新幹線の速さに近いです。

竜巻の中心部では、新幹線が通りすぎるのくらいの風が短時間で吹く場合もあります。

ご意見・ご感想をお待ちしています



問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠1-2-36

福岡管区気象台地域防災推進課はれるんマガジン編集部

電話：092-725-3614

e-mail：fukuoka_bousaichousa@met.kishou.go.jp



気象の警報などが大きく変わりました

次回の発行は2026年11月の予定です。お楽しみに！